

第 25 期第 2 四半期累計期間の業績のご報告 (2020 年 7 月 1 日～2020 年 12 月 31 日)

2021 年 3 月 吉日
日本システムバンク株式会社
代表取締役社長 野坂 信嘉

当第 2 四半期累計期間における経済環境は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられました。先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されますが、感染症拡大による社会経済活動への影響が内外経済を下振れさせるリスクに十分注意する必要があります。先行きは不透明な状況となっています。

駐車場業界におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の抑制を目的とした外出自粛の影響により、駐車場利用者数が著しく減少し、極めて厳しい状況となりました。

このような状況の中、当社は「社員及び関係者の安全確保」という基本方針の下、売上原価及び販管費の低減並びに新規投資の縮小などを実施し、可能な限りの利益の確保に取り組んでまいりました。

コインパーキング事業では、採算が悪化した駐車場の撤去及びコストの見直し、並びに駐車場の新規開設を抑制した結果、売上高は 2,977,383 千円となりました。

プロパティマネジメント事業では、コストの見直し及び不要不急の投資を控え、利益の確保に努めた結果、売上高は 79,066 千円となりました。

以上の結果、当第 2 四半期累計期間における売上高は 3,059,507 千円（前年同期比 8%減）となりました。

事業区別	金額	前年同期比
コインパーキング事業	2,977,383 千円	92%
プロパティマネジメント事業	79,066 千円	71%
その他	3,057 千円	74%
計	3,059,507 千円	92%